

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岐阜聖徳学園高等学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
住所 〒500-8288
岐阜市中鶯1丁目50番地
E-mail : gsh@shotoku.ac.jp
Website : http://www.shotoku.jp/gsh/
児童生徒数 : 男子 728 名 女子 516 名 合計 1244 名
児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 担当者

3. 実施活動 (複数選択可)

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

本校の「総合」の各学年の目標は、1年生が「環境」、2年生が「自然・文化・交流（中国・沖縄）」、3年生が「人権」をテーマとして、1年間を通して、クラスごとに、課題の設定、探究、発表の学習を行うことです。

「課題」の設定は、クラスごとに、「個人」による課題の設定から、「班などのグループ」による課題の設定、「クラス」によるの課題の設定まで、幅広い選択が可能です。

「探究」の方法も、書籍・インターネットによる調べ学習、実験、フィールドワークなど、幅広い選択が可能です。

「発表」は、2月に各学年ごとに発表会を実施します。発表者は、クラスごとに、その中の代表の「個人」による発表から、「班などのグループ」による発表、「クラス」まとまったの発表まで、幅広い選択が可能です。また、発表の方法も、パワーポイントから模造紙、ビデオ、劇など幅広い選択が可能です。

このように、本校の「総合」の学習は、課題の設定から発表の方法まで、幅広い選択が可能な学習になっています。

今年度の各学年の発表会では、放射線の実験を発表した1年生のクラス、中国研修旅行での内モンゴル自治区の植林活動、蒙古中学校との文化交流を発表した2年生のクラス、沖縄研修旅行での普天間基地のフィールドワークを俳句で発表した2年生のクラスなど、例年以上に興味深い発表を交流することができました。

また、今年度の9月の総合登校日では、ゲストティーチャーをむかえて、ESDに関わる講演会をおこないました。

1年生は、岐阜大学の大西健夫先生による講演会をおこないました。テーマは、「陸と海のつながりから環境問題をみる—地球のお医者さんを目指して—」です。

生徒の感想を一つ紹介します。

・今日、話して下さったことは、今、水に恵まれている日本は本当に考えなければならぬことだと思うので、もっと、日本の教育の中に、そういった環境の大切さとか、世界のこととか、入ると嬉しいです。というよりも、そうなるべきだと思います。

3年生は、岐阜県ユネスコ協会の平井花画先生による講演をおこないました。テーマは、「識字率について」です。また、岐阜聖徳学園大学ユネスコサークルのJOYによる講演をおこないました。テーマは、「カンボジアスタディーツアー」です。

生徒の感想を紹介します。

・私は「字が書けて当たり前、安全に過ごせて当たり前」だと思っていたけれど世界には困っている人がたくさんいる。

・字が読めることで地雷の被害を減らせるものと思った。

・地雷を処理するのに100年以上かかることがとても信じられない。

JOYの発表者は、岐阜聖徳学園大学教育学部の2名の学生です。特に教師を目指す高校3年生に本当に良い刺激になりました。

生徒の感想を一つ紹介します。

